

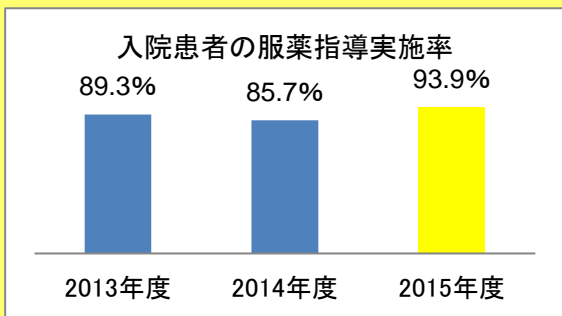
## ■ コメディカルの病棟配置によるケアの質向上

平成 22 年 4 月に厚生労働省より「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」が医療機関に通知されチーム医療の推進が本格化致しました。

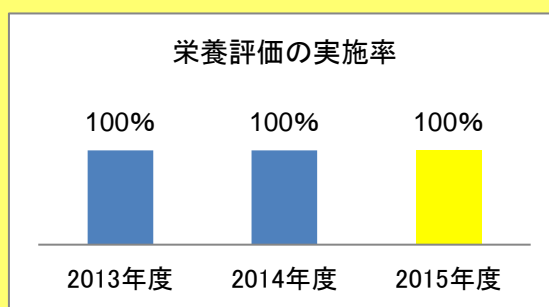
患者さんの早期回復と退院を図るには医師と看護師だけではなく薬剤師、管理栄養士、リハビリテーション技師など多数のスタッフが患者さん 1 人 1 人に介在する事が重要です。

本指標は入院患者さんと対面する機会が多い薬剤師と管理栄養士の各病棟での配置率を示しており、1 病棟に対して各職種担当者が 1 人配置されていれば 1 件と計算しております。(兼務含む)

薬剤師においては全ての病棟に薬剤師が配置され、管理栄養士では 80%以上の配置率を維持しており、引き続き各職種が協働して治療にあたる体制を推進して参ります。



2015 年度の服薬指導の実施率は 2014 年度と比べ 8.2%向上致しました。薬剤師が患者さんに対面し薬剤に関する理解を促す事は治療効果の向上につながる重要な業務です。引き続き高い数値の維持に努めて参ります。



患者さんの栄養状態を把握し適切な対処を行う事は医療の質を高める上で重要な取組です。荻窪病院では3カ年に渡り小児や乳児を含む全ての入院患者さんの栄養評価を実施しており今後も継続して実施件数を維持して参ります。